

# えひめ 地域づくり協働体通信

平成 30 年度から 2 ヶ年事業として愛媛県から受託している「集落活性化モデル構築事業」（田園回帰 1% 戦略）のモデル地区に選定している松野町藤生・奥野川地区の住民の方とともに、先進的な取組みをされている「徳島県佐那河内村」を訪れました。今号では、その先進地視察で得た知見等についてご紹介します。本紙が皆さまの地域で活動される上で、ご参考になれば幸いです。

徳島県 みょうどうぐん さなごうちそん 東郡佐那河内村

キーワード：地域コミュニティ、民間移住支援団体、空き家改修・転貸

## ★徳島県佐那河内村について

佐那河内村は、徳島県の北東に位置し、東に県都の徳島市、西に神山町、南に上勝町・勝浦町に隣接しています。徳島県唯一の村で、人口は約 2,300 人です。主要な産業は農業で、特産品としてスタチ・さくらももいちごなどが有名です。徳島市の中心部から車で約 25 分程度であることから通勤が可能であり、村内に住み徳島市内へ勤務される方も大勢います。



佐那河内村の位置



村内中心部

## ★佐那河内村の地域コミュニティ組織について

佐那河内村には、古くから伝わる講中（こうじゅう）と呼ばれる相互扶助組織や、常会（じょうかい）、名中（みょうちゅう）と呼ばれる住民組織が重層的に存在しています。これらの組織は、佐那河内村の自治の礎であり、地域の心と絆を紡ぐ独特の組織であります。特に、常会は、村内にある全 47 集落すべてに存在しており、いわゆるエリア型コミュニティと言われる自治会組織であります。毎月末に行われる会合において村の納税や自治の改善に大きな役割を担っており、行政や農協、地域行事等の連絡事項の周知を図るとともに、地域の合意形成やコミュニケーションの場にもなっています。

### ①移住支援団体の取組みについて

佐那河内村には、「ねごう再生家」と「佐那河内活性化プロジェクト宮前笑会」と呼ばれる 2 つの移住支援団体があります。ここで、この 2 団体が行っている活動についてご紹介します。

#### 1. ねごう再生家（ねごうさいせいや）

H26 年 10 月に発足し、村内にある中津・中浦・日浦・尾端の 4 常会（根郷名中）に住む 30~40 代の青年 8 人で構成されています。集落点検を行った結果から明らかになった人口減少によるコミュニティの衰退や空き家の増加、無店舗集落といった 10 年後の地域の姿を危惧して活動を開始されました。活動内容として、ねごう再生家が借り受けた古民家を移住者に転貸することによる家賃収入により、無店舗化の防止策などに投資できるようにしています。一方、将来地域に必要な人材像を建築家と決めて移住者を探していたところ、徳島市内に住まわれていた建築家夫婦との賃貸契約に至り、古民家改修や地域交流の支援なども行っています。

#### 2. 佐那河内活性化プロジェクト 宮前笑会（みやまえしょうかい）

H27 年 6 月に発足し、5 つの常会エリアに住む 8 人で構成されています。この団体は、人口減少に伴い、地域の伝承芸能である「獅子舞」が継承されなくなることを危惧して発足するに至りました。現在は、5 棟（うち 4 棟は転貸中）を管理し伝承芸能を継承するため、理解のある移住者に入居していただきたいと考えています。

## ②空き家の状況と移住支援体制について

全国各地には空き家が多く存在していますが、「いつか使うかもしれない」「他人に貸すことへの不安」「家財道具の整理整頓が面倒」などを理由として、なかなか貸していただけないのが実情であり空き家の利活用が進んでいません。そのような状況の中、佐那河内村では佐那河内村移住交流支援センターが、村内の遊休不動産や相続放棄による個人資産の放置の情報を集約し、行政や2つの移住支援団体とも連携を図りながら移住のサポート支援体制を整えています。公的機関や地元で生まれた移住支援団体が相互にバックアップすることで移住希望者に信頼していただければ、移住者の獲得につながっています。

## ③空き家の改修について



改修中の空き家



移住された方自らが改修に関わったご自宅

## ④ふるさと住民カードの取組みについて

佐那河内村が行っている「ふるさと住民カード」の制度は、ふるさと納税者や固定資産税を納税している人の他、婚姻や就職など外発的要因で転出された人、仕事や地域活動で村に関わりを持ち続けている人などを対象として現在、村外に在住している人が登録できる制度です。転出された後も既存の村民と同様に、「村広報誌」等による行政情報の授受ができ、さらには「ふるさと住民専用四季のガイドブック」の情報サイトの閲覧なども可能となっています。

## ⑤今回の視察を通じて松野町蕨生・奥野川地区で活かせることは？

佐那河内村と松野町の共通点として、これまでに合併をしてない点や近隣に比較的大きな市があるという点が挙げられます。松野町においても佐那河内村と同様、住民主体の支援団体などの住民自治組織を創設することで、行政と連携しながら移住希望者とのつなぎ役や移住後のサポート支援体制を構築できるのではないかと思います。キーワードは「諦めなければ地域は継承される」です！今後の活動や取組みに期待します。



## ★取材後記

今号では初めて、県外の先進的な取組みについて事例紹介をさせていただきました。佐那河内村は、県都である徳島市と隣接し、徳島市中心部まで車で約25分の地の利を生かし、地元の移住支援団体とも連携しながら空き家・古民家改修による移住者の獲得に力を入れておられました。本県においても同じように、中心市の周辺に位置する市町などについては特にベッドタウンとして、移住政策のご参考になる事例であると思います。今回ご紹介した佐那河内村の地域活性化に向けた取組みが、県内各地で地域づくりに尽力される皆様方のご参考になれば幸いです。

この情報誌の関係サイト/「えひめ地域づくり協働体」 Facebook

### 地域の活動情報の連絡先/この情報誌に関するお問合せ先

愛媛県企画振興部地域政策課

TEL: 089-912-2236 E-mail: [chiikiseisak@pref.ehime.lg.jp](mailto:chiikiseisak@pref.ehime.lg.jp)

(公財) えひめ地域政策研究センター

TEL: 089-926-2200 E-mail: [info@ecpr.or.jp](mailto:info@ecpr.or.jp)